

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和6年11月14日 発行

1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾病	疫学週				判断基準(定点当たり)			
	42週	43週	44週	45週	警報レベル	注意レベル		
	10月14日～10月20日	10月21日～10月27日	10月28日～11月3日	11月4日～11月10日	開始基準値	収束基準値	基準値	
小児科定点	インフルエンザ#	0.33	—	—	0.33	30	10	10
	新型コロナウイルス感染症#	6.33	5.00	5.33	5.00	-	-	-
	RSウイルス感染症	—	0.50	—	—	-	-	-
	咽頭結膜熱	—	0.50	—	—	3	1	-
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	1.50	—	1.50	8	4	-
	感染性胃腸炎	—	4.00	1.00	4.00	20	12	-
	水痘	—	0.50	—	0.50	2	1	1
	手足口病	20.00	17.00	8.50	4.00	5	2	-
	伝染性紅斑	—	—	—	—	2	1	-
	突発性発しん	—	1.50	—	—	-	-	-
	ヘルパンギーナ	—	0.50	—	—	6	2	-
	流行性耳下腺炎	—	—	—	—	6	2	3
眼科定点	急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
	流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
基幹定点	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
	無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
拡張疾患	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
	マイコプラズマ肺炎(小児科)	—	—	2.00	0.50	-	-	-
	川崎病	—	—	—	—	-	-	-
不明発疹症	—	—	—	—	-	-	-	

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況) ◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	○	—	—
備考	感染性胃腸炎		

***「1.発生動向」の解釈について**

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

3. 栗原支所より

【全数報告疾病】

5類:百日咳
男性1名

※全数報告疾病…すべての医師から届け出が必要な疾病

【定点把握対象疾患】

- ・新型コロナウイルス感染症の発生は横ばいです。
- ・手足口病の発生は警報レベルが継続中です。
- ・感染性胃腸炎が減少傾向でしたが再燃しています。
- ・小児のマイコプラズマ肺炎は継続しています。感染対策に努めましょう。

【集団発生情報】

感染性胃腸炎の集団発生がありました。感染性胃腸炎の多くなる季節です。感染対策に努めましょう。

【感染症コラム ～百日咳～】

- ・百日咳(ひやくにちぜき)は、百日咳菌によって引き起こされる急性の呼吸器感染症です。症状はカタル期、痙攣期、回復期の3つの期間に分けられ、長期間にわたって強い咳が続くのが特徴です。特に乳幼児は重症化するリスクが高く、命に関わることもあります。
- ・感染者の咳やくしゃみを通じて菌が空気中に放出され、それを吸い込む飛沫感染によって周囲に感染します。早期に治療を開始することで症状の進行を抑えることができます。予防にはワクチン接種が有効で、特に乳幼児には定期接種が推奨されます。
- ・もしも感染者と接触する場合は、こまめな手洗いとアルコールによる手指消毒、マスクの着用、感染者との一定の距離を保つ、感染者が触れた物や表面を消毒するなどにより感染リスクを減らすことができます。



感染症情報
←



性感染症検査
←

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 ☎0228-22-7594
HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwzfz/ktindex.html>